

史跡草津宿本陣 (草津一) ☎・FAX561-6636

本陣四季彩々 秋の段

◆のぞいてみよう! くずし字の世界 ~変体仮名ってなんだ?~

平仮名は漢字をくずしてできた文字です。「変体仮名」とは、現在使わなくなった形の平仮名のことで、これを覚えると、江戸時代の本や浮世絵をより楽しむことができます。この秋は、宿場を描いた浮世絵を展示していますので、くずし字の世界をのぞいてみませんか?

◎10月15日(土)~11月20日(日)

●ワークショップ「江戸時代の人になりきってくずし字を書いてみよう!」(しおり作り付き)

◎10月29日(土)13:30~15:00 対 小学4~6年生

定 10人(先着順) ¥100円(小学生は入館料無料)

他 草津宿みちくさラボ対象イベントです

申 10月4日(火)~、電話かファクスで

●古文書講座「はじめてのくずし字 ~変体仮名を読む~」

◎11月13日(日)13:30~15:00

定 10人(先着順)

¥ 入館料要

申 10月4日(火)~、電話かファクスで



▲歌川芳幾画
「東海道中栗毛弥次馬 草津・大津(部分)」
(草津市蔵・中神コレクション)

◆幕末展

~大福帳に見る著名な休泊者たち~

草津宿本陣には、宿帳の役割を果たした「大福帳」が181冊残されており、これらを紐解くと歴史上の著名な人物たちの休泊記録を見ることができます。本展では、激動の時代・幕末を生き抜いた人物たちの休泊記録を紹介します。

◎10月15日(土)~
11月20日(日)

「慶応元年大福帳」
(草津宿本陣蔵)



◆秋のワークショップDAY きらめけ☆ほんじん

ランプシェードと行灯作り。今年の「草津街あかり・華あかり・夢あかり」の期間中、本陣で展示します。

①いろもかたちもオリジナル!カラフルランプシェードづくり

②「むかしのあかり ミニあんどんづくり」

◎11月3日(木) ①10:30~ ②14:00~

対 小学生 定 各10人(先着順)

¥ 各200円(入館料含む)※保護者は入館料要

他 ・草津宿みちくさラボ対象イベントです

・街あかりで展示する場合、11月6日(日)~20日(日)に作品を取りにきてください。当日持ち帰りもできます。

申 10月4日(火)~、電話かファクスで



本陣楽座

夜長に興ずる落語会

長い夜のひと時を、本陣で笑って楽しみませんか?

出演:桂壱之輔さん、桂福龍さん ◎10月22日(土)17:30~18:30

定 40人(先着順) ¥700円 申 10月2日(日)~前日までに、電話かファクスで

草津宿街道交流館 (草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

草津宿街道交流館 秋季テーマ展

「湖国の佳人—近江ゆかりの浮世絵美人画—」

江戸時代、各地の名所や流行のファッションを盛り込んだ「美人画」は浮世絵の中でも人気ジャンルでした。近江にまつわる作品を通して、美人画の世界を紹介します。

◎10月15日(土)~11月13日(日) ¥ 入館料要

▶三代歌川豊国
「近江八景之内 矢橋帰帆」
(草津市蔵・中神コレクション)



K U S A T S U

歴史ギャラリー

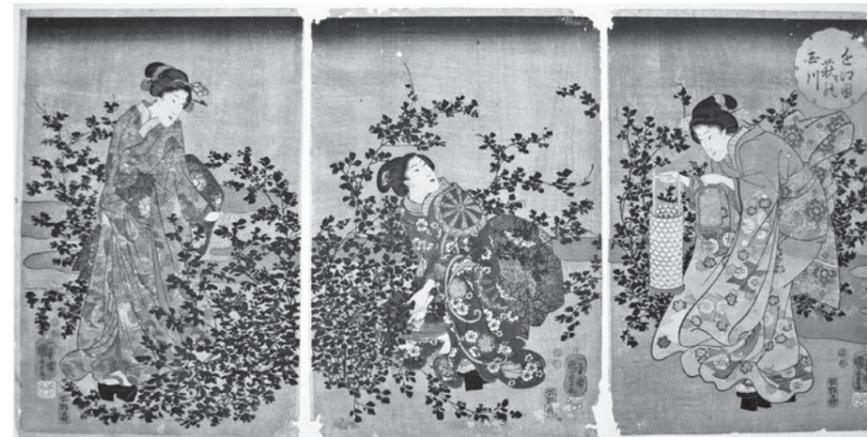
歌川国芳「近江国 萩の玉川」

No.179

宵闇の中、川べりに萩が咲いています。右端の女性は行灯を手にして、今まさにこの画面の中に登場したところでしようか。夢中で萩を愛でていた左の2人のもとに、明かりを持ってきたのかもしれない。萩は秋の七草の一つ。初秋の夜の、涼しげな情景です。

題の「萩の玉川」は、近江国の歌枕「野路の玉川」を指します。歌枕とは古来、和歌に多く詠まれた名所のことです。中でも全国6カ所の「玉川」はまとめられて「六玉川」と呼ばれ、数々の文芸作品や芸能、絵画作品の題材になってきました。嘉永年間(1848~1854年)のこの作品も6点が組になった「諸国六玉川」のうちの1点です。

野路の玉川を詠んだ和歌の代表的なものに、平安時代後期の歌人・源俊頼の古歌「明日も来ん野路の玉川萩こえて色なる波に月宿りけり(明日も来よう、野路の玉川には萩の花が映り、さらに月までも映りこんでいる)」があります。このように、野路の玉川は、し



▲歌川国芳「近江国 萩の玉川」(草津市蔵)

この作品を含む歌川国芳「諸国六玉川」全6点は、草津宿街道交流館秋季テーマ展「湖国の佳人—近江ゆかりの浮世絵美人画—」で展示します。

◎10月15日(土)~
11月13日(日)

ばしば夜夜の情景として描かれました。そのイメージの通り、ここでも上部の黒のぼかして夜の闇が表され、萩はシルエットと小さな白い花で表現されています。定番のモチーフを描きつつ、彩り豊かな衣装をまとう女性たちを主役として浮き上がらせた、美しい作品です。

絵師の歌川国芳(1797~1861年)は幕末期を代表する浮世絵師で、武者絵や風刺画をはじめ、さまざまな作品を残しており、近年は猫を好んで描いた絵師としても人気があります。この「諸国六玉川」全6点は、いずれも大判(縦約36cm、横約26cm)で3枚続きの迫力ある画面に女性たちを配し、それぞれ1枚ずつの作品としても成立するよう計算された巧みな構図になっています。

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

草津の古代を掘る2022 -草津の最新文化財情報-

市民の皆さんに発掘調査成果の公開・普及を目的とした報告会です。昨年度、大定木遺跡(青地町)で新たに見つかった古墳の周濠や、草津宿場町遺跡で見つかった畑の跡などの調査成果を報告します。

①市役所8階 大会議室

◎ ● 報告会、発掘調査出土品展示 10月29日(土)14:00~17:00

②志津まちづくりセンター(青地町)

◎ ● 報告会 10月29日(土)14:00~17:00(①の報告会を映像で生中継)

◎ ● ミニ展示 10月31日(月)~11月5日(土)(祝日を除く)

定 ①50人 ②48人(各先着順) 申 10月3日(月)~28日(金)

申・問 歴史文化財課(6階) ☎561-2429、FAX561-2488

